

# 医療系重要テーマ

～小論・面接対策～

# 医

# 薬害

薬害とは？

→医薬品などによる健康被害

ただし、副作用とは違う（薬を飲んだら眠くなったとか）

薬害は、危険な副作用の見逃し、飲み合わせ、ウイルスなどの混入などのこと

具体例

ジフテリア予防接種（1948～1949）京都、島根

ワクチンの中に無毒化されていない毒素が残ったままだった。死者84名被害者1000人以上

本来、ワクチンは検査されるが、国の検査で通過してしまった（検査が手抜きだった）

さらに、初め京都で強い副作用が出るという事が伝わっていたのに、島根での予防接種が継続されてしまった

サリドマイド事件(1958～1962)

睡眠薬・鎮静剤に含まれていたサリドマイドという成分に、胎児の催奇性があった。

ドイツで開発され、広く使われていたが、1961年11月に西ドイツから催奇性を疑う警告が出た

ヨーロッパでは直ちに市場から消えた。しかし日本では1962年5月に出荷停止、同9月に中止、回収

血液製剤によるC型肝炎ウイルスの感染(1980年代)

フィブリノゲン製剤、血液凝固因子製剤にC型肝炎ウイルスが混ざっていた

血液から作られるが、加熱をしていなかったのでウイルスが不活化されていなかった

血液製剤によるHIVの感染

C型肝炎時と同様

しかし、エイズの病原体も特定されておらず、検査法も発明されていなかったためリスクなどが分からなかった

+HIVは潜伏期間が長い

イレッサ事件（薬害に含まれるか微妙）

肺がん治療薬のイレッサの副作用に、間質性肺炎があり、初期の頃1年で294名が死亡

製薬企業が副作用の危険性を示すデータがあったにもかかわらず、誇大広告をしたり、添付文章での警告をしなかった